

ムーミンたちの、優しくてちょっと不思議な世界へようこそ!!

©Moomin Characters™

MOOMIN

ムーミンハウス
をつくる

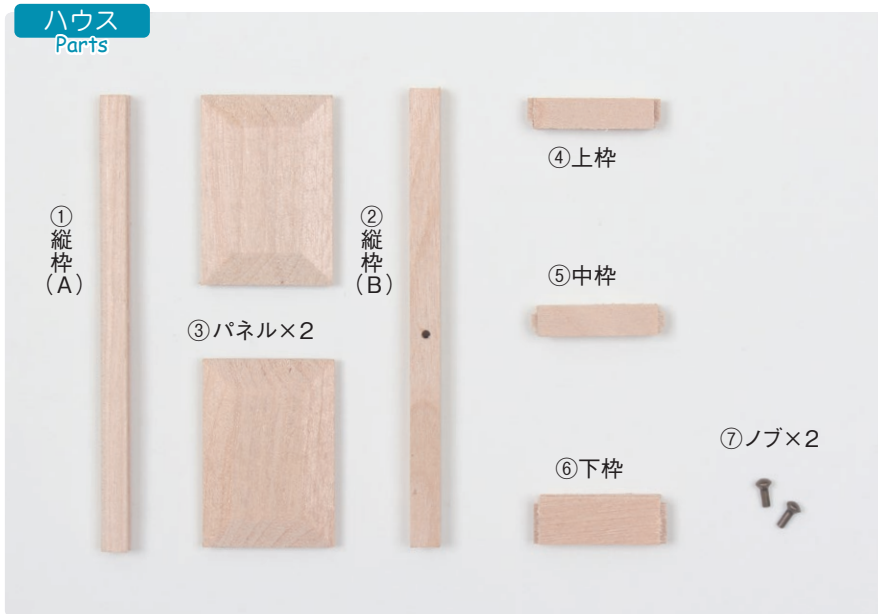
組み立てガイド

5





1階のドアを組み立てる



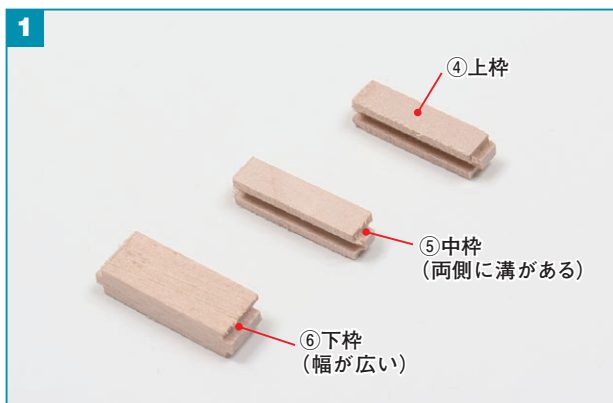
フィギュア
⑧ ご先祖さま

使う道具

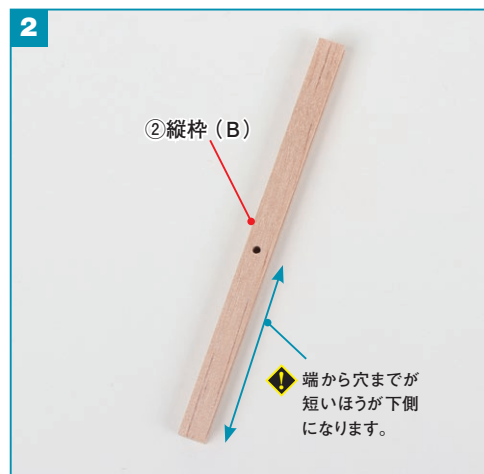
- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 紙ヤスリ (240番)
- ようじ
- 絵皿 (紙皿でも可)
- 筆
- アクリル絵の具 (ローシェナー、ランプブラック)



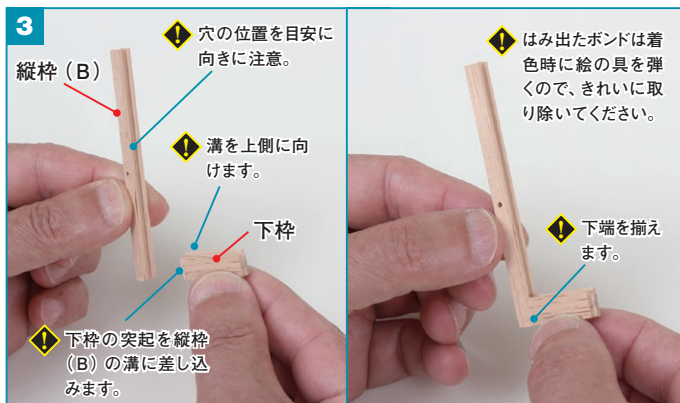
1階のドアの組み立て



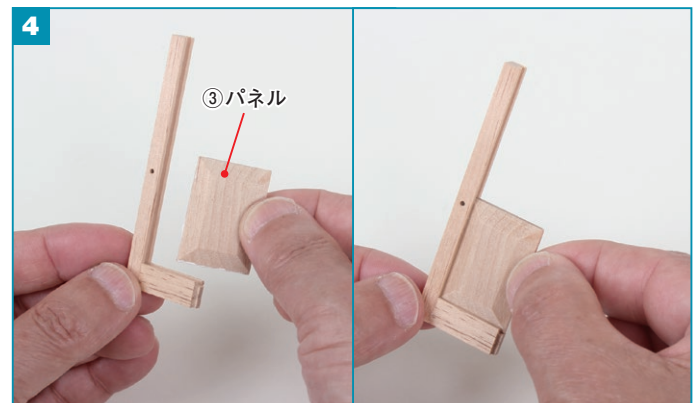
④上枠、⑤中枠、⑥下枠を確認します。幅や切り込みを目安に、間違えないように注意してください。



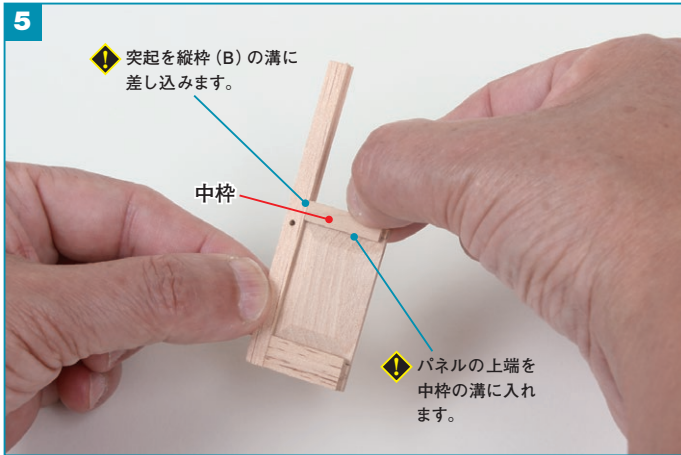
②縦枠 (B)には上下があります。端から穴までの長さが異なるので注意してください。



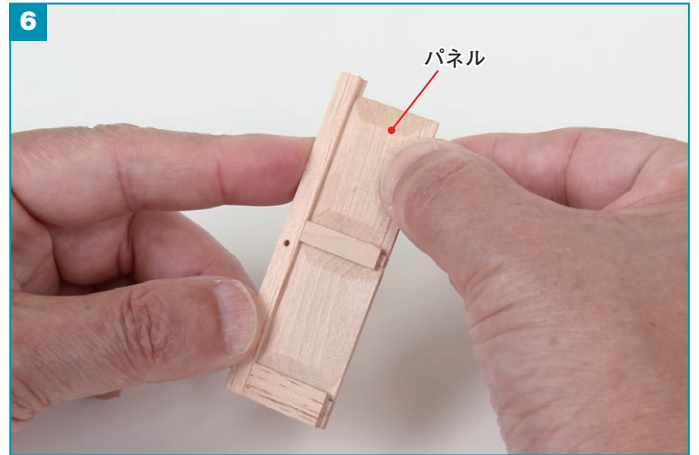
縦枠 (B)を写真の向きで持ち、右下に下枠をボンドで接着します。



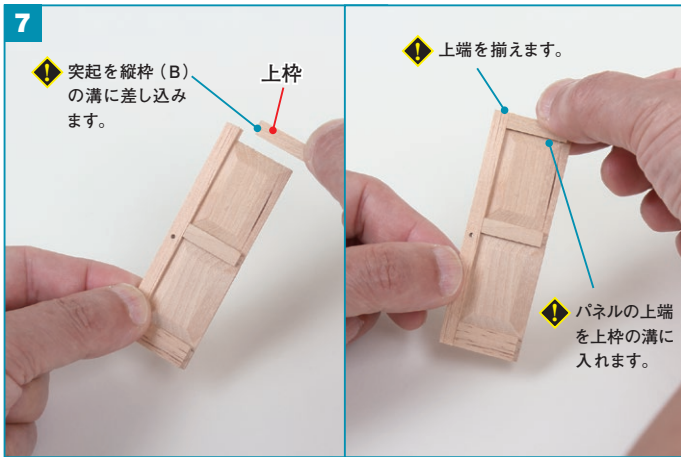
縦枠 (B)と下枠の溝に、③パネルを差し込みます。パネルの縁にボンドをつけてから、溝の奥まで差し込んでください。



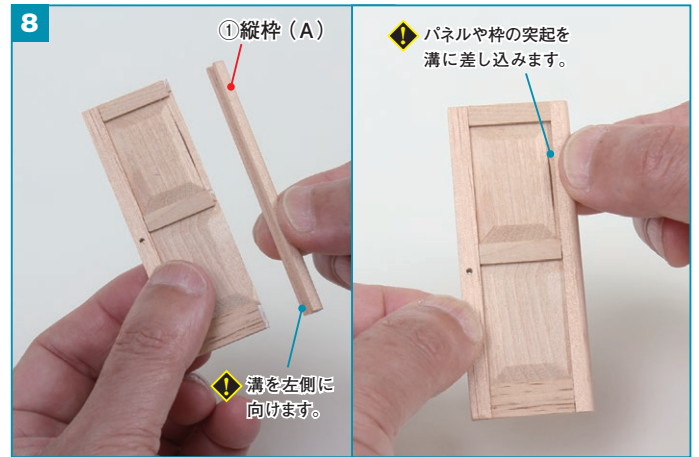
パネルの上側に中枠をボンドで接着します。



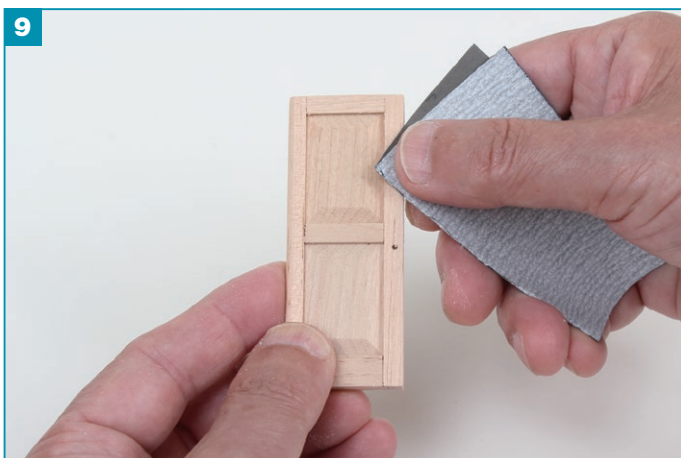
4と同じ要領で、縦枠 (B) と中枠の溝に、残りのパネルを差し込み、ボンドで接着します。



パネルの上側に上枠をボンドで接着します。



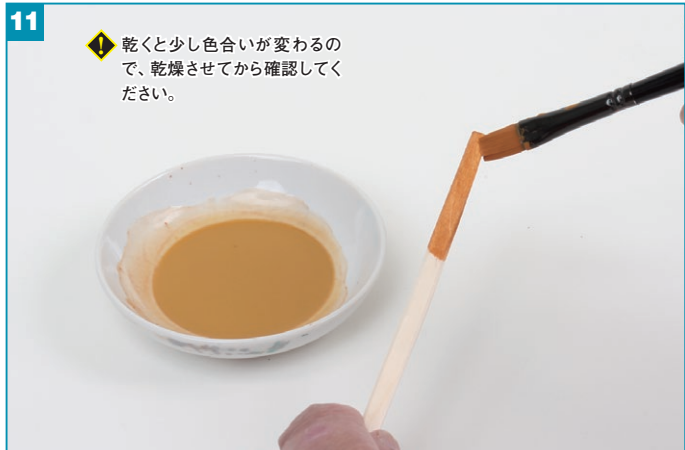
7の右側に、①縦枠 (A) をボンドで接着します。



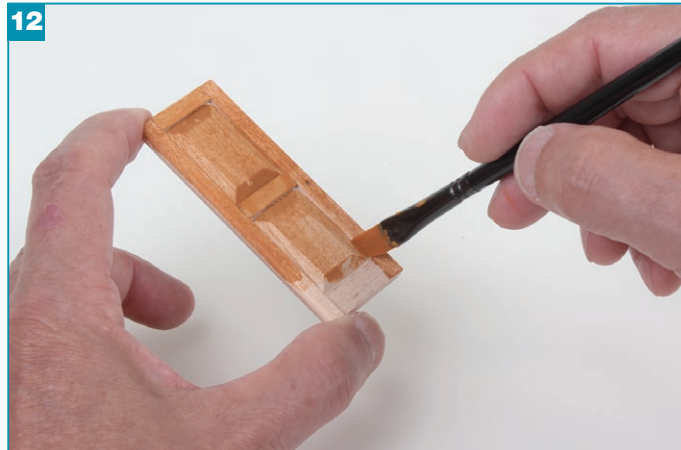
着色前に全体に軽く紙ヤスリをかけ、木の毛羽立ちやささくれを落とします。



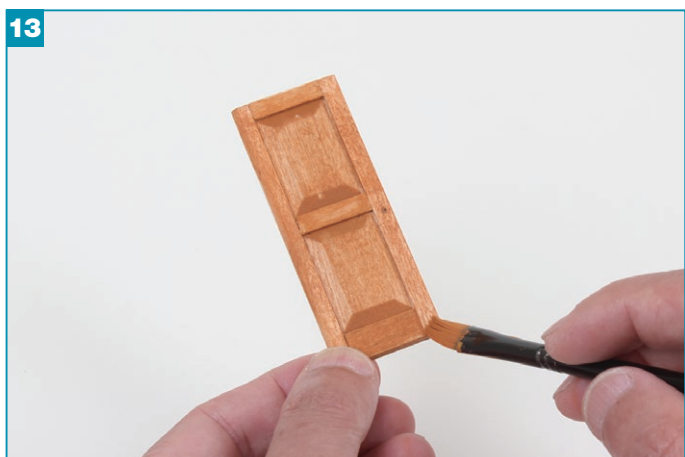
絵皿にローシェナー (茶色) と水を1:5の割合を目安に出し、やや濃くするためにランプブラック (黒) を少しだけ加えます。



よく混ぜ合わせ、不要な割り箸などに塗って色合いを確認します。少し薄いようなら、ランプブラックを足すなどして、好みの色合いに調整します。



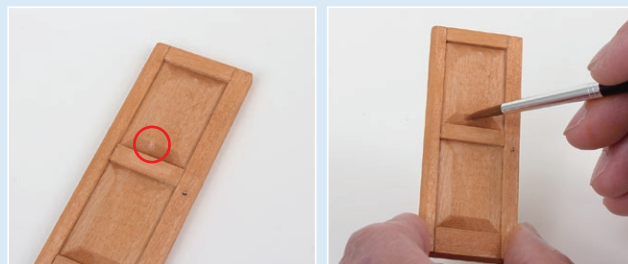
絵の具を筆に取り、ドアに塗ります。パネルと枠の間も、筆先をうまく使って塗りましょう。



絵の具は両面に塗ります。色が薄い場合は、乾いてからもう一度塗ると少し濃くなります。

ADVICE
アドバイス

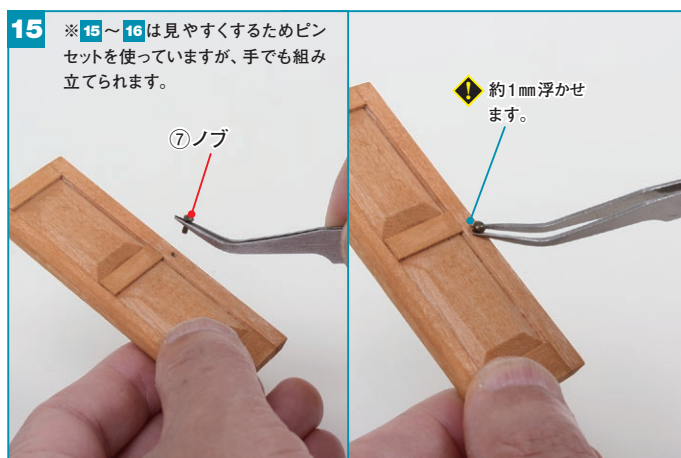
絵の具を弾いた部分を修正しよう



ボンドがついていたりすると絵の具が弾かれ、左写真の赤丸部分のように少し薄くなります。この場合は、塗料を薄い部分だけに塗って修正します。筆先でつつくようにして絵の具をつけるのがコツです。



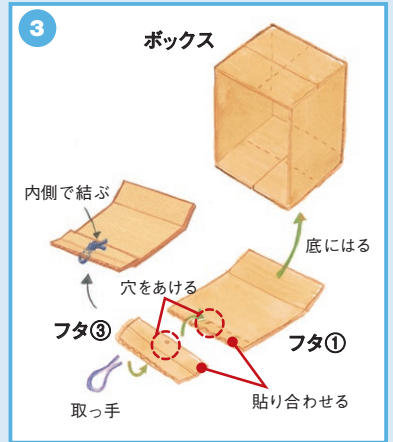
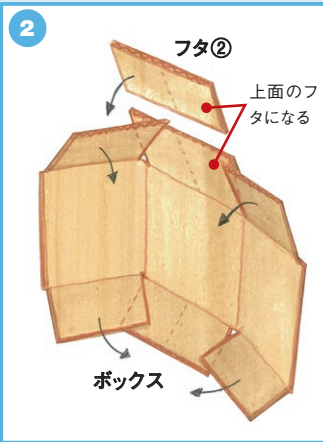
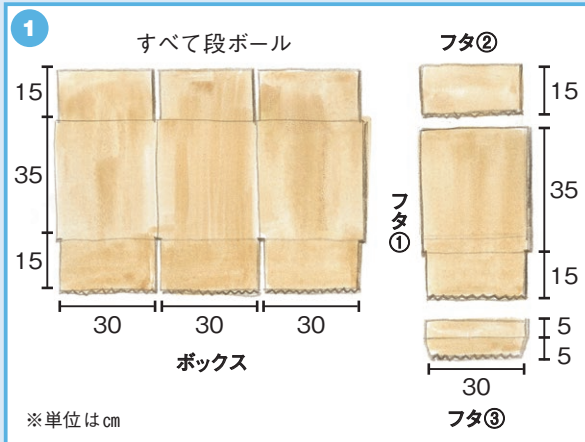
着色したときに縦枠(B)の穴が塞がってしまった場合は、ようじなどを使って広げます。



⑦ノブの端に少量の瞬間接着剤をつけてから、縦枠(B)の穴に差し込みます。

STEP UP! ハウスの保管ボックスをつくりましょう

つくりかけのムーミンハウスは、専用の箱に入れて保管するとよいでしょう。ここでは段ボールを使った保管ボックスの組み立て方を紹介します。



- | 材料 | 使う道具 |
|-------------------|----------------|
| □ 段ボール (長辺35cm以上) | □ カッターナイフやハサミ |
| □ 麻ひもなど (185cm以上) | □ 木工用ボンドか両面テープ |

1. 段ボールを上①の展開図のように切り分けます。
 2. ②のように、左右を内側に入れてボックスを組み立て、木工用ボンドか両面テープで接着します。上面にフタ②を貼ります。
 3. ③のように、組み立てたボックスの底面にフタ①の15cm部分を貼ります。フタ①とフタ③を貼り合わせます。
 4. 麻ひもなどを長さ約160cmと約25cm(取っ手用)に切ります。
 5. フタ①とフタ③に穴を開け、取っ手用の麻ひもを通して内側で結びます。穴は、取っ手の結び目が抜けない大きさにしてください。
 6. 約160cmに切った麻ひもは、フタを閉じておくためのものです。組み立てたボックスの周囲にまわして結びます。
- ※第25号あたりまでに組み立てるムーミンハウスを保管することができます。



組み立て途中のパーツの保管には、間仕切り付きのケースなどを使うと便利!

完成!



ボックスは、着色したりイラストを貼ったりして好みに飾ってもよいでしょう。



取っ手に麻ひもを通して結びましょう。



麻ひももマスキングテープを貼るなどで、かわいく仕上げるとよいでしょう。



取っ手を引くとフタが開きます。

16



同様に、反対側の面にもノブを瞬間接着剤で取りつけます。



今号の完成

これで今号の作業は終了です。次号では、このドアを壁に取りつけます。

保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



1階のドア枠と



キャビネット（下部）を組み立てる

組み立てのコツが満載！
組立サポート
動画を
チェック！

<http://deagostini.jp/app/moo/>

ハウス Parts

②上枠 (A) ⑤上枠 (B)

⑧ピン ×2

⑦下枠

①縦枠 (A・左) ③縦枠 (A・右) ④縦枠 (B・左) ⑥縦枠 (B・右)

※写真のパーツは接着面も白く塗装されていますが、実際のパーツはボンドのつきをよくするため、未塗装になっています。

家具 Parts

⑨板 (A) ⑫板 (B)

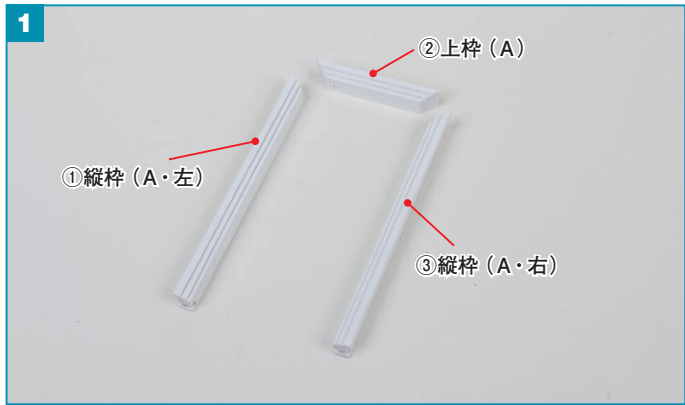
⑩扉 ×2 ⑬枠

⑪底板 ⑭板 (C)

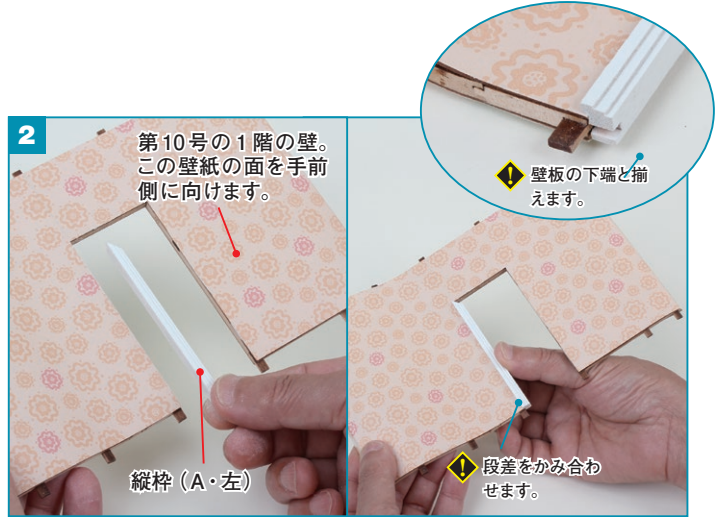
- 使う道具**
- 木工用ボンド
 - 紙ヤスリ (240番)
 - ようじ
 - カッティングマット
 - カッターナイフ



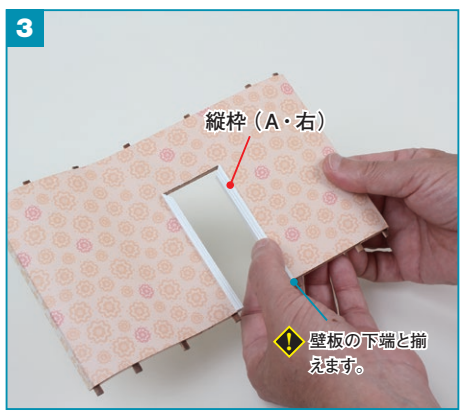
1階のドア枠の組み立て



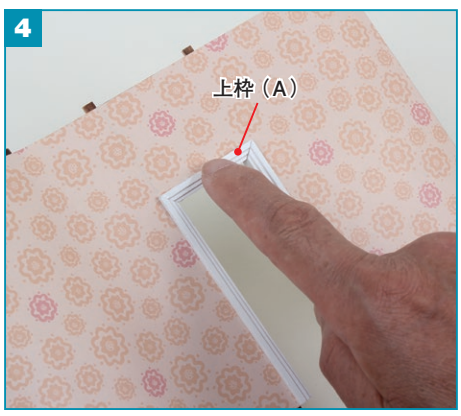
①縦枠 (A・左)、②上枠 (A)、③縦枠 (A・右)を確認します。①～③は写真の位置関係で組み立てていきます。



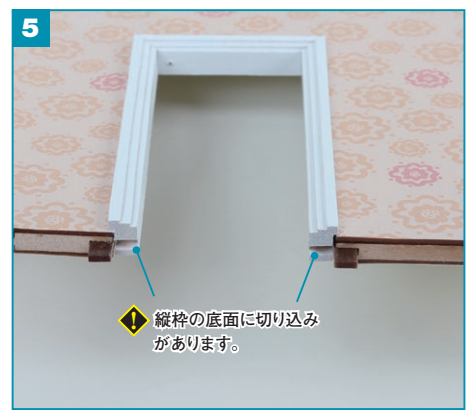
第10号の1階の壁を用意して写真の向きで持ち、開口部の左側に縦枠 (A・左)をボンドで接着します。段差をかみ合わせ、下端は壁板の下端と揃えます。



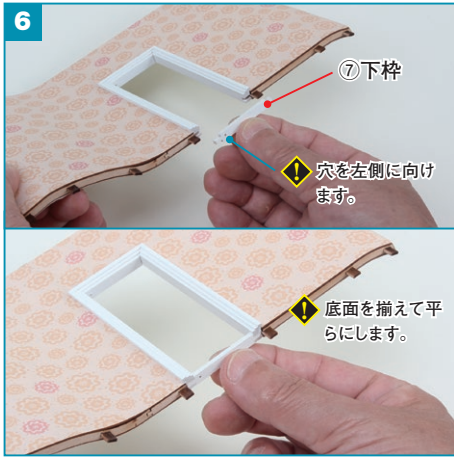
2と同じ要領で、開口部の右側に縦枠 (A・右)をボンドで接着します。



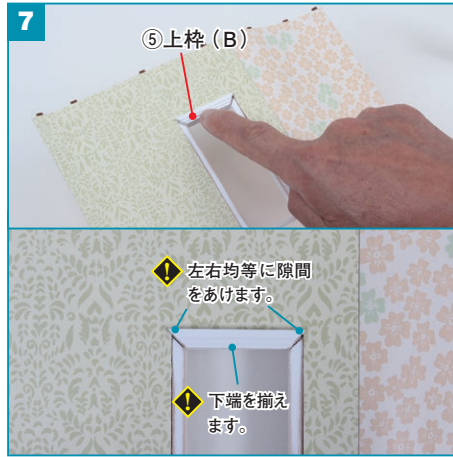
同様に、開口部の上側に上枠 (A)をボンドで接着します。



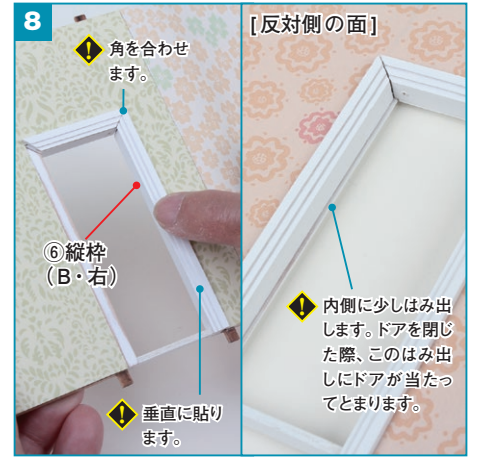
左右の縦枠の底面には切り込みがあります。この切り込みに、⑦下枠をはめ込みます。



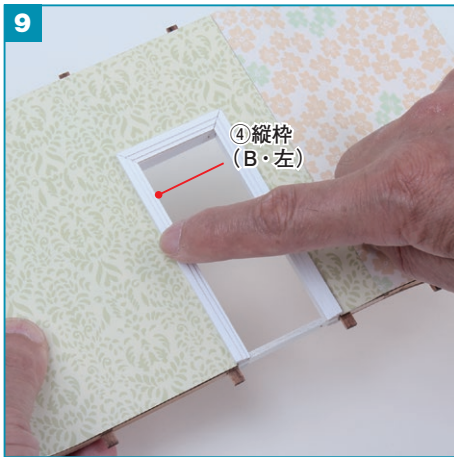
⑦下枠の左右の突起にボンドをつけてから、5で確認した縦枠底面の切り込みにはめ込みます。下枠の穴の位置に注意してください。



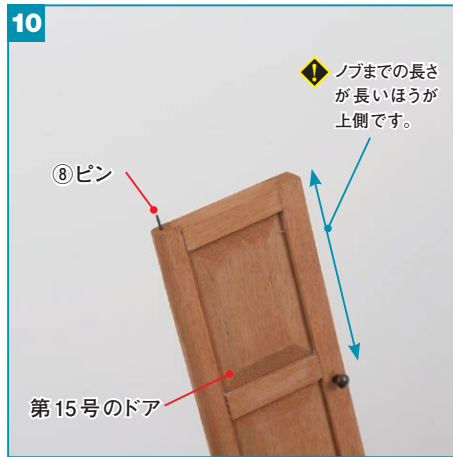
壁を裏返し、開口部の上側に⑤上枠 (B) をボンドで接着します。



開口部の右側に、⑥縦枠 (B・右) をボンドで接着します。上枠の角と合わせて垂直に貼ると、内側に少しはみ出します (右写真)。



8と同じ要領で、開口部の左側に④縦枠 (B・左) をボンドで接着します。



第15号のドアを用意し、縦枠の上側の穴に⑧ピンを差し込みます。



壁を写真の向きで持ち、ドアを開口部に設置します。まず、10でドアに差したピンを上枠 (A) の穴に差し込みます。



ピンを上枠の穴に差し込みながら、ドアの下側を押し、開口部にはめ込みます。



下枠の穴にもう1本のピンを差し込み、ドアの縦枠の穴まで通します。これでドアが固定され、開け閉めできるようになります。ピンが外れないよう、ようじなどの先でボンドを少しつけておきましょう (下写真)。

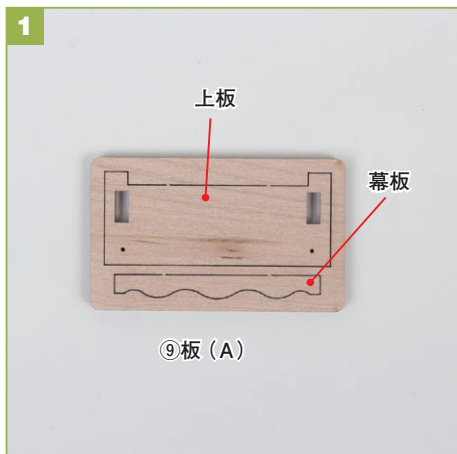
今号の
完成

ドアはピンで固定されているため、開け閉めできます。無理に大きく開くと壊れるので、扱いは注意してください。

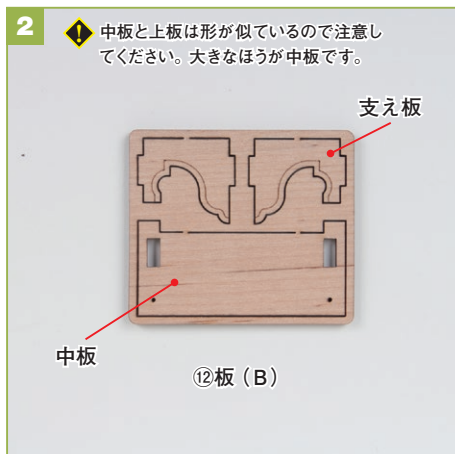




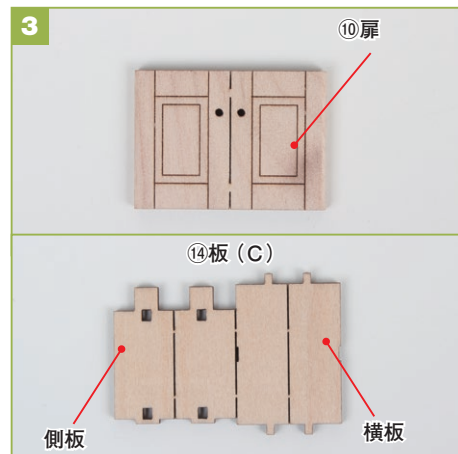
キャビネット (下部) の組み立て



⑨板 (A) から、上板、幕板を外します。継ぎ目をカッターナイフで切ってから、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。



同様に、⑫板 (B) から中板と支え板2枚を外します。



⑩扉の継ぎ目をカッターナイフで切って外します (上写真)。切り口は紙ヤスリをかけて平らにしてください。同様に、⑭板 (C) から側板2枚と横板2枚を外します (下写真)。



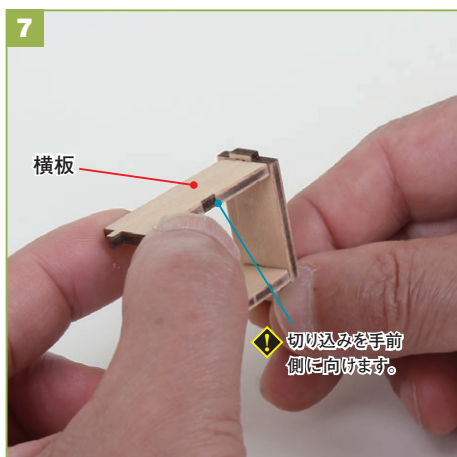
⑬枠以外の各パーツの厚みには、成型の際の焦げ目があります。着色後に焦げ目が残るので、紙ヤスリをかけてなるべく取り除きます。



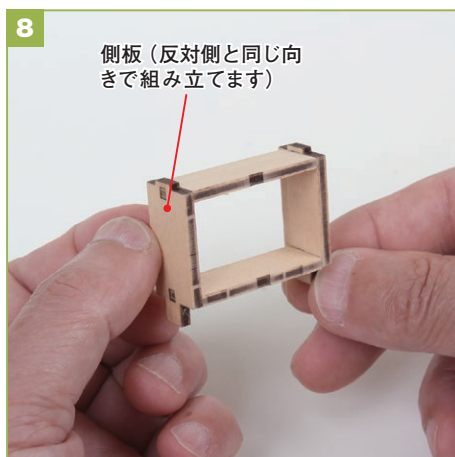
写真のように焦げ目を取り除きます。接着面や組み立て後に見えなくなる部分は、焦げ目が残っていても大丈夫です。



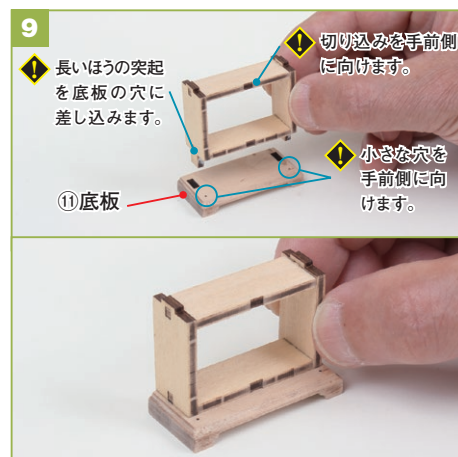
横板の突起にボンドをつけてから、写真のように側板の穴に差し込みます。



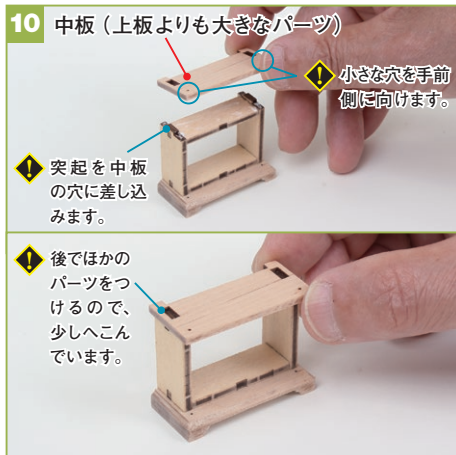
同様に、側板の残りの穴にもう1枚の横板の突起を差し込み、ボンドで接着します。



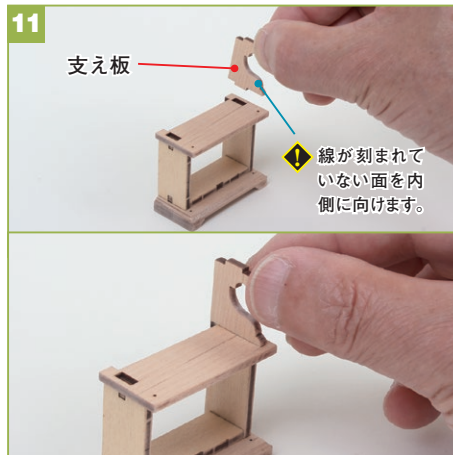
⑥～⑦と同じ要領で、反対側に残りの側板をボンドで接着します。



⑪底板を写真の向きで置き、上面に⑧までに組み立てたブロックをボンドで接着します。



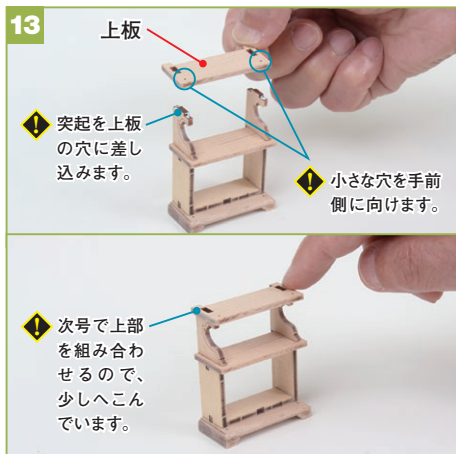
9の上面に、中板をボンドで接着します。中板は上板よりも大きなパーツです。



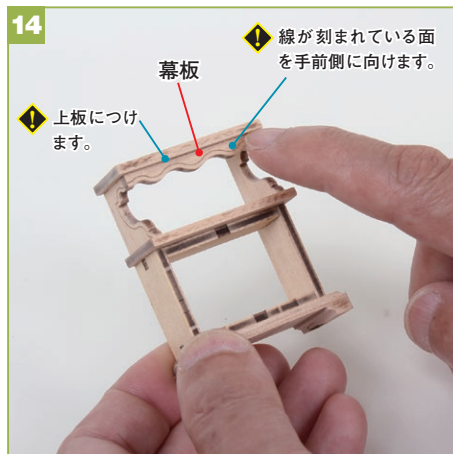
支え板の突起にボンドをつけ、中板の上面の穴に差し込みます。向きに注意してください。



11と同じ要領で、反対側に残りの支え板をボンドで接着します。



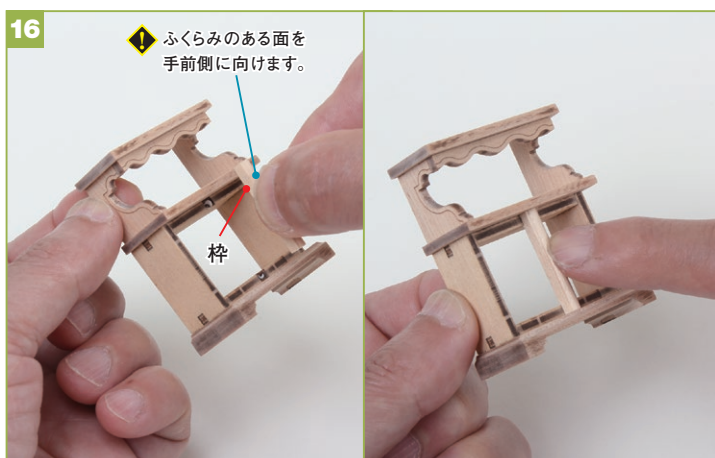
支え板の上に、上板をボンドで接着します。



支え板の上端に、幕板をボンドで接着します。

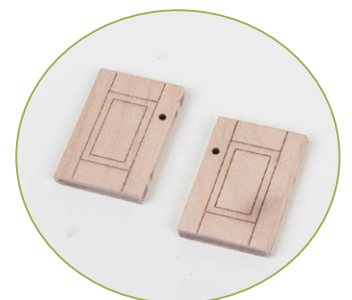


⑬棒の形を確認します。ふくらみのない平らな面が組み立て後の内側になります。



棒の上下の端にボンドをつけてから、横板の切り込みにはめ込みます。残りのパーツは、次号で組み立てます。

今号の
完成



これで今号の作業は終了です。⑩扉は、次号で着色してから組み立てます。なくさないよう大切に保管してください。

✿ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



地下のベースと  キャビネット(上部)を組み立てる



<http://deagostini.jp/app/moo/>

ハウス Parts

① ベース板 (A) ② ベース板 (B)

③ 補強板

家具 Parts

※⑩はパッケージと同じ透明のパーツです。

④ 板

⑥ 扉×2

⑤ 側板×2

⑧ 枠

⑦ 棚板

⑨ 背板

⑩ プラスチック板×2

⑪ 取っ手×4

⑫ ビン×9 (1本は予備)

使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 両面テープ
- 紙ヤスリ (240番)
- ようじ
- カッティングマット
- カッターナイフ
- 絵皿 (紙皿でも可)
- 筆
- アクリル絵の具 (ローシェナー)

あると便利な道具

- ピンセット



地下のベースの組み立て

1

③ 補強板

① ベース板 (A)

線が刻まれた端を手前側にします。

ベース板 (A) の線に合わせます。

手前側の端を揃えます。

① ベース板 (A) の写真の位置に、③ 補強板をボンドで接着します。

2

奥側には少し隙間ができます。

ボンドが乾く前に、補強板の位置を確認します。ずれていると、後の号でパーツを組み立てにくくなるので注意してください。

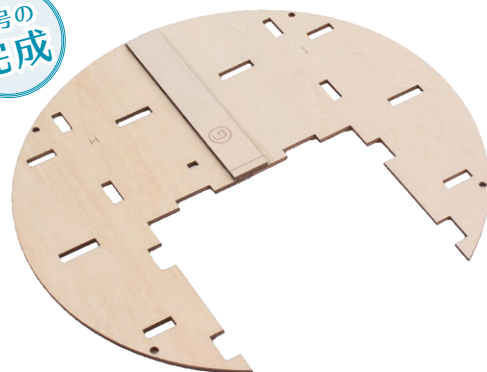
3

② ベース板 (B)

ベース板 (B) の線に合わせます。

手前側の端を揃えます。

① ~ ② と同じ要領で、反対側に② ベース板 (B) をボンドで接着します。

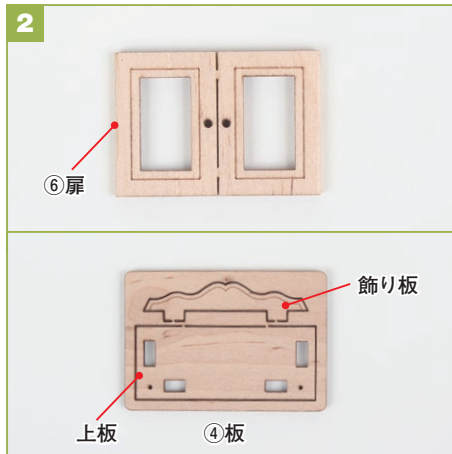


これで今号の作業は終了です。開口部は、地下倉庫のためのスペースです。今後、このベースにさらにパーツを加えていきます。

キャビネット（上部）の組み立て



⑤側板の継ぎ目をカッターナイフで切って外します。切り口は紙ヤスリをかけて平らにしてください。

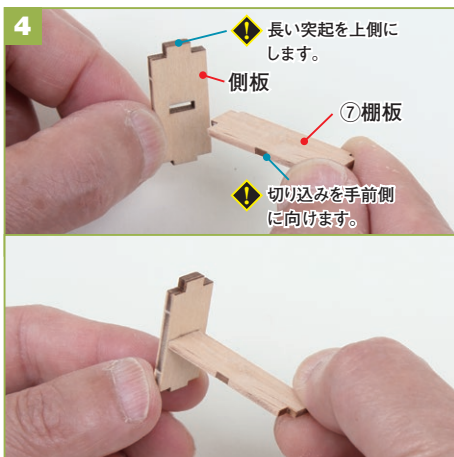


同様に、⑥扉の継ぎ目を切って2枚に分け(上写真)、④板から、上板、飾り板を外します。



※⑨背板の焦げ目は、取り除かなくても大丈夫です。

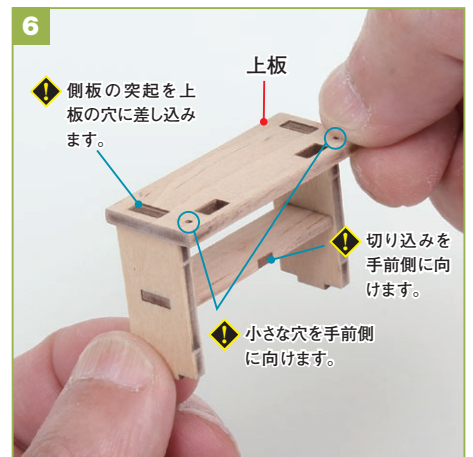
⑧枠以外の木製パーツの厚みには、成型時の焦げ目があります。着色後に焦げ目が残るので、紙ヤスリをかけて取り除きます。接着面や組み立て後に見えなくなる部分は、焦げ目が残っていても大丈夫です。



⑦棚板の突起にボンドをつけてから、写真のように側板の穴に差し込みます。



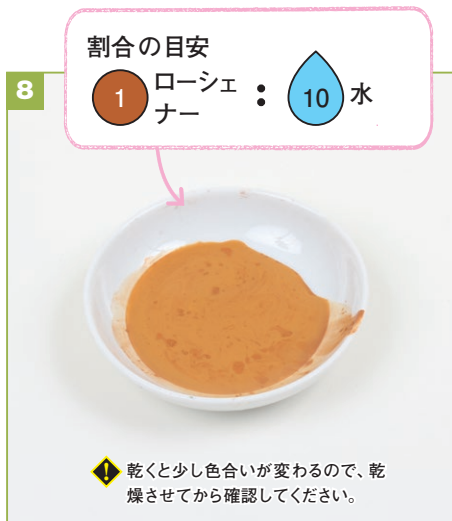
同様に、反対側に残りの側板をボンドで接着します。



側板の上面に、上板をボンドで接着します。



⑧枠を棚板の切り込みにはめ込み、ボンドで接着します。上端を上板につけ、まっすぐ立つように調整してください。



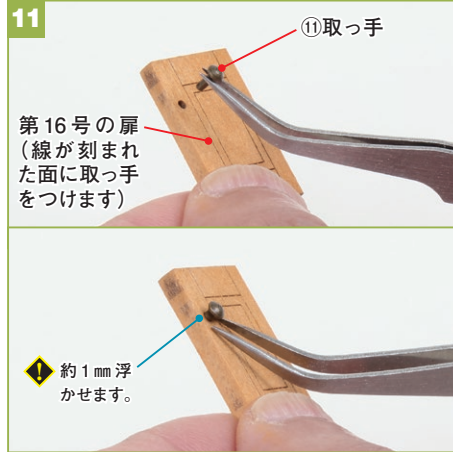
絵皿にローシェナー（茶色）と水を1:10の割合を目安に出し、よく混ぜ合わせます。不要な割り箸などに塗って色合いを確認しましょう。



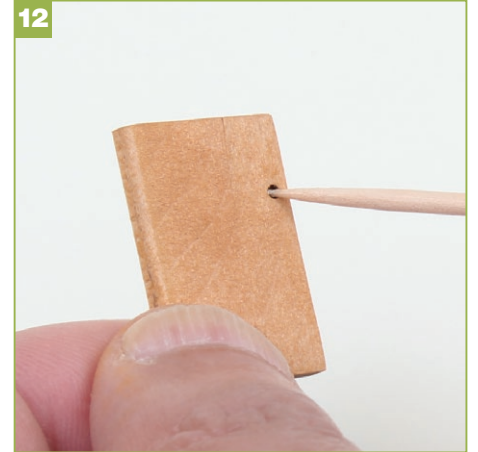
絵の具を⑦までに組み立てたブロック、扉、飾り板、背板に塗ります。乾かして色合いを確認しましょう。薄い場合は、もう一度塗ると少し濃くなります。



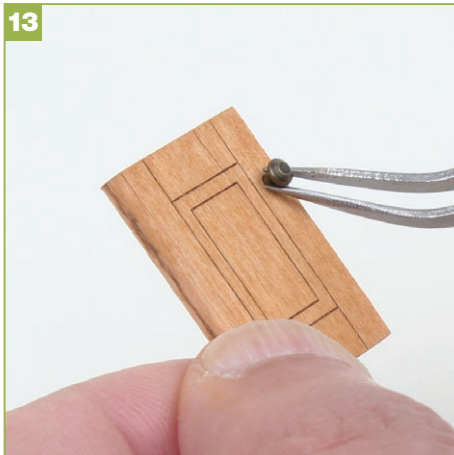
同じ絵の具を、第16号で組み立てたキャビネット(下部)と保管しておいた扉にも塗ります。



第16号の扉の穴に①取っ手を差し込みます。



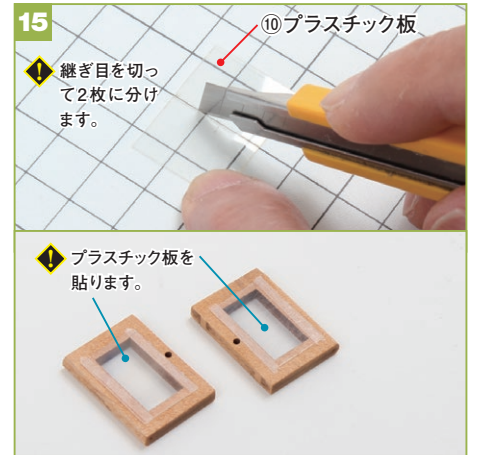
裏面からようじの先などを使って瞬間接着剤を少量つけ、取っ手を固定します。



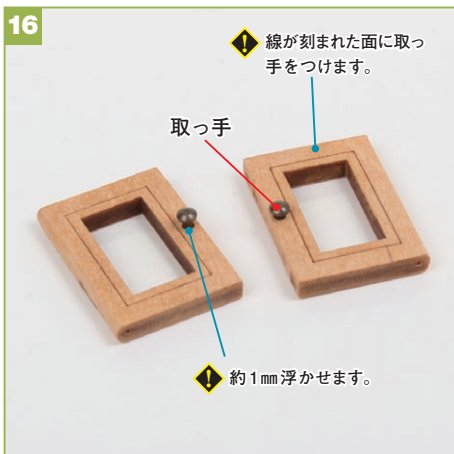
11~12と同じ要領で、もう1枚の第16号の扉にも取っ手を設置します。



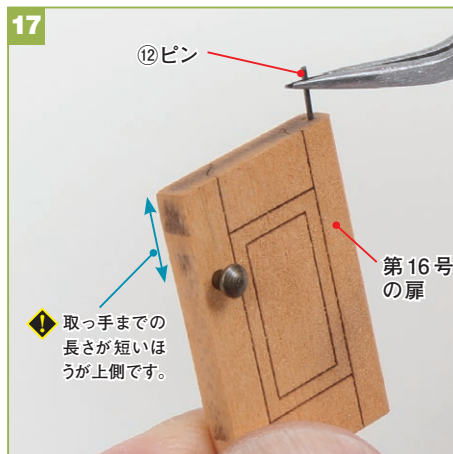
今号の扉の裏面(線が刻まれていない面)に、写真のように約2mm幅に切った両面テープを貼ります。



⑩プラスチック板の継ぎ目をカッターナイフで切って2枚に分けます(上写真)。次に、14で貼った両面テープのシートをはがし、切り分けたプラスチック板を1枚ずつ貼ります。



11~12と同じ要領で、今号の扉にも取っ手を1つずつ設置します。



第16号の扉を写真の向きで持ち、上側の穴に⑫ピンを差し込みます。



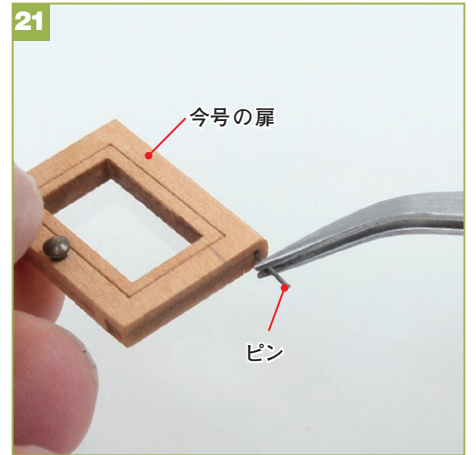
上写真のように、17で扉に差したピンを第16号のキャビネット(下部)の中板の穴に差し込み、扉を取めます(下写真)。



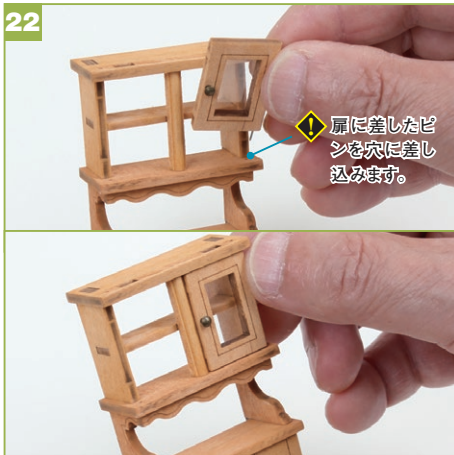
底板の穴にもう1本のピンを差し込み、扉の穴まで通します(上写真)。ピンが外れないよう、ようじなどの先でボンドを少しつけておきましょう(下写真)。同じ要領で、反対側にもう1枚の扉を設置します。



今号で組み立てたキャビネット(上部)の側板の突起を、キャビネット(下部)の上板の穴に差し込み、ボンドで接着します。



今号の扉を写真の向きで持ち、下側の穴にピンを差し込みます。



扉に差したピンを写真の位置の穴に差し込み、扉を収めます。



上板の穴にもう1本のピンを差し込み、扉の穴まで通します。



ピンを奥まで差し込み、上板からはみ出ないようにします。きつくて入れにくい場合は、写真のようにカッターナイフの先などを使って押し込むとよいでしょう。同じ要領で、反対側にもう1枚の扉を設置します。



飾り板の突起にボンドをつけてから、上板の穴に差し込みます。



⑨背板が背面に入るか確認し、きつくて入れにくい場合は、背板の周囲を紙ヤスリで少し削ります。背板の周囲にボンドをつけ、今までに組み立てたキャビネットの背面にはめ込みます。

今号の
完成

これでキャビネットの完成です。扉は開閉可能ですが、無理に大きく開くと壊れるので、扱いには注意してください。



✿ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。

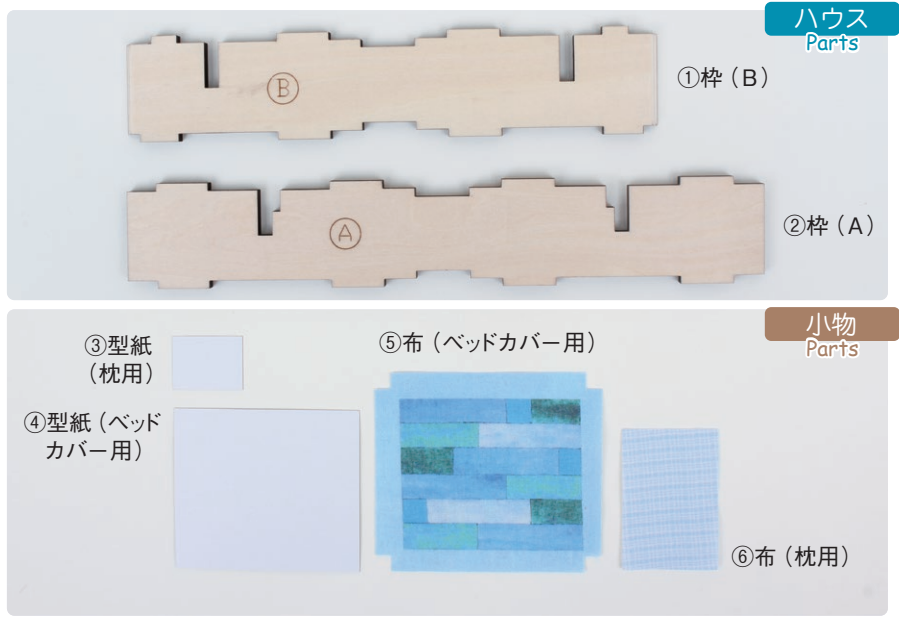


地下のベースと  ベッドカバー、枕を組み立てる

組み立てのコツが満載！
組立サポート
動画を
チェック！



<http://deagostini.jp/app/moo/>



使う道具

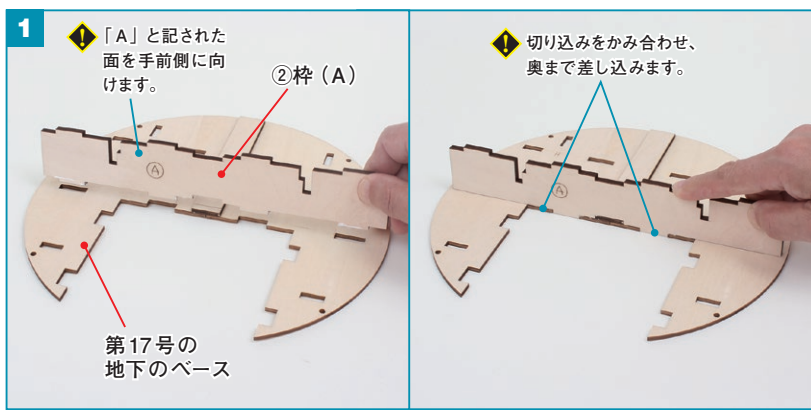
- 木工用ボンド
- ようじ
- シャープペンシル (鉛筆)
- ハサミ
- 両面テープ
- ティッシュペーパーなど

あると便利な道具

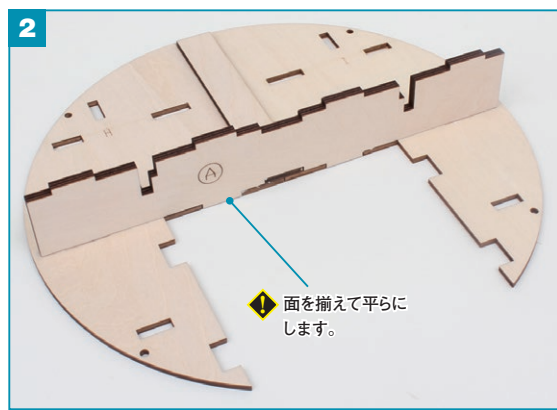
- ピンセット



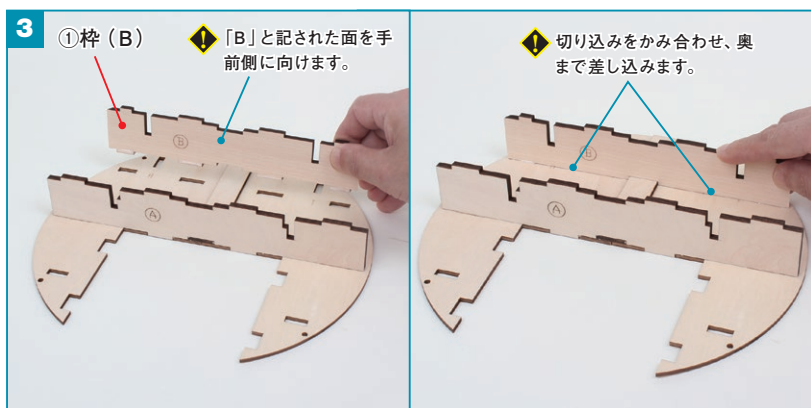
地下のベースの組み立て



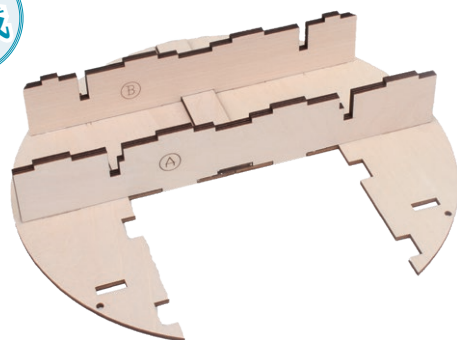
第17号で組み立てた地下のベースを用意し、写真の位置に②枠(A)をボンドで接着します。



ボンドが乾く前に、枠(A)の位置を確認します。写真で示した面が揃い、平らになっていることを確認してください。



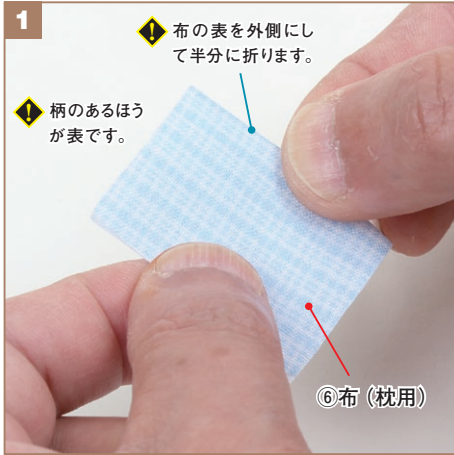
さらに、写真の位置に①枠(B)をボンドで接着します。



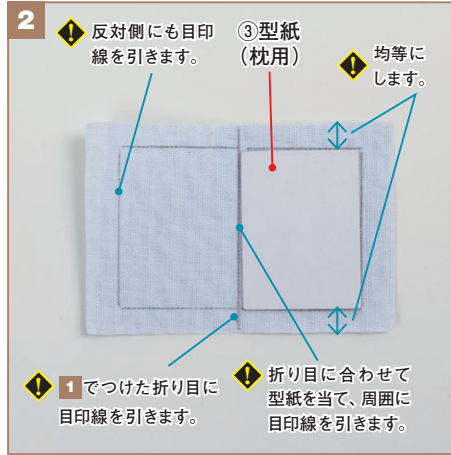
これで今号の作業は終了です。次号以降も枠を加え、地下のベースを形づくっていきます。



ベッドカバー、枕の組み立て



⑥布 (枕用) の表が外側になるように半分に折り、癖をつけます。



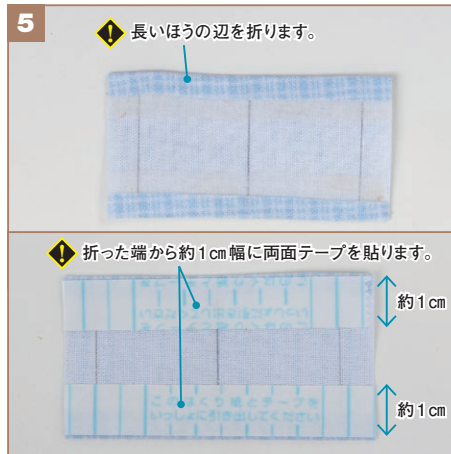
布 (枕用) を開き、裏面に目印線を引きます。①でつけた折り目に目印線を引き、その線に合わせて上下の中央の位置に③型紙 (枕用) を当てます。型紙を押さえながら、周囲に目印線を引いてください。



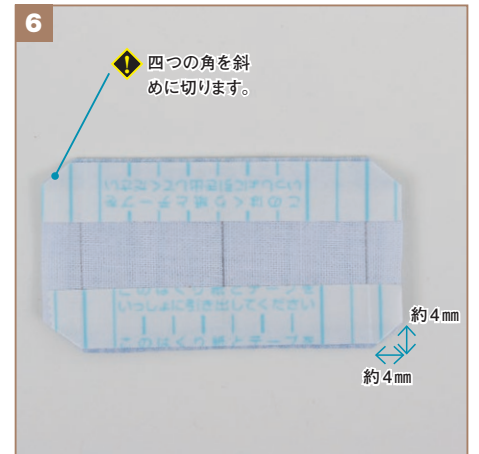
目印線に合わせて型紙を当て、短いほうの辺を裏側に折り、癖をつけます。



同様に、型紙を当てながら、長いほうの辺も目印線に合わせて裏側に折り、癖をつけます。



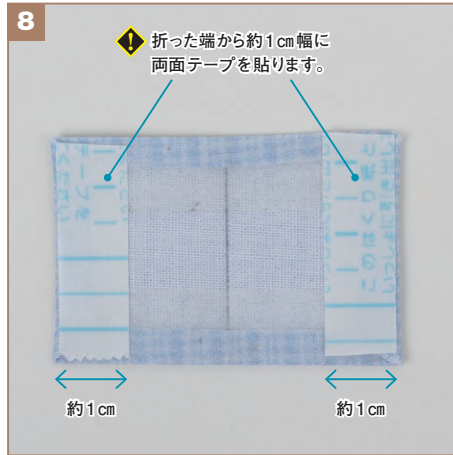
折り癖をつけた長いほうの辺を裏側に折ります (上写真)。折った端から約1cm幅に両面テープを、下写真のように貼ります。



四つの角を写真のように斜めに切ります。



6で貼った両面テープのシートをはがし、折り癖をつけた短いほうの辺を裏側に折ります。



7で折った端から、約1cm幅に両面テープを貼りましょう。



9のクッションをつくります。ティッシュペーパーなどを用意して折り重ね、型紙(枕用)よりもひとまわり小さく、ティッシュペーパーなどを折り重ねます。厚さは押し平らにしたときに約2mmを目安にします。※型紙(枕用)は以降の作業には使いません。



8で貼った両面テープのシートをはがし、9で折ったティッシュペーパーを写真のように乗せます。



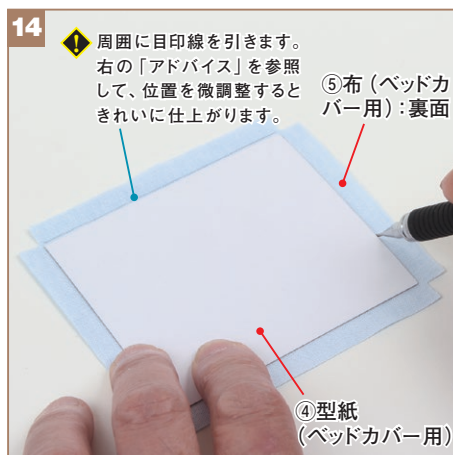
クッション用のティッシュペーパーを包み込みながら、目印線の位置で布(枕用)を半分に折ります。



折り返した端から少しずつ、ティッシュペーパーを内側に押し込みながら貼り合わせます。



ティッシュペーパーがはみ出さないように注意しましょう。周囲をすべて貼り合わせたら枕の完成です。



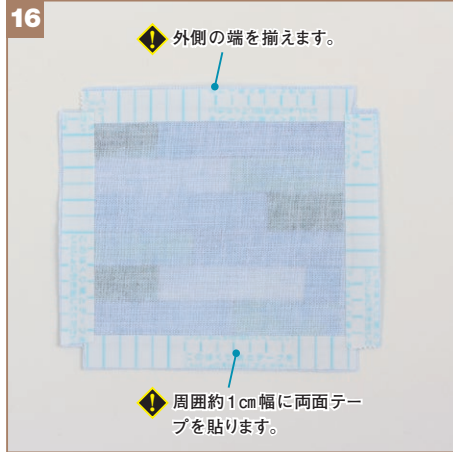
⑤布(ベッドカバー用)の裏面に④型紙(ベッドカバー用)を当て、周囲に目印線を引きます。

ADVICE アドバイス 表の柄に注意して目印線を引こう

布(ベッドカバー用)を表にしたとき、目印線の内側の水色の地がなるべく均等に見える、きれいに仕上がります。



目印線に合わせて型紙を当て、裏側に折って癖をつけます。



折り癖をつけたら一度開き、布(ベッドカバー用)の周囲約1cm幅に両面テープを貼ります。

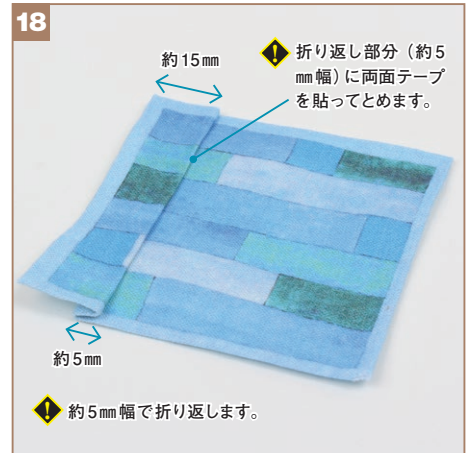
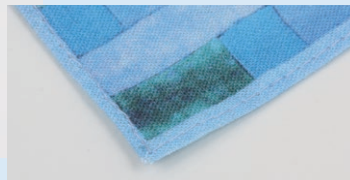


両面テープのシートをはがしてから、周囲の端を折り癖にそって裏側に折ります。

STEP UP! ステッチを入れてみよう



ベッドカバーは、ステッチを入れるとより本物らしくなります。写真のように、周囲の端をミシンで縫うだけでもがらりと雰囲気が変わります。ほかの部分にもステッチを入れるなど、自由にアレンジを楽しんでください。



ベッドカバーを写真のように折り曲げます。折り目に合わせて約5mm幅の両面テープを貼ってとめましょう。



ベッドカバーの裏面、写真の位置に、両面テープ(5mm幅)を貼ります。シートをはがしてから、完成写真のようにベッドに当てます。この両面テープでベッドの側面にベッドカバーをとめます。

今号の
完成

第1号で組み立てたベッドにカバーを当て、枕を添えて完成です。



※ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。